

一般社団法人 埼玉県建設産業団体連合会  
平成27年度事業報告

1. 建設産業に関する調査研究及び提言

(1) 建設産業に関する調査研究について

- ① 業界紙、官公庁関係等の各種資料の日常的な収集・分析を実施し、テキスト・図表などの資料等の作成を行った。また、重要な事項については、理事会・正副会長会議等で議論し、意見集約と施策を検討した。
- ② 連合会会長が、一般社団法人全国建設産業団体連合会の監事としてその活動に積極的に参加し、建設産業の全国的な状況について把握するとともに、適宜理事会等で報告を行い、問題意識の共有を図った。
- ③ 政治・行政機関との意見交換会を実施し、建設産業の現状や改善策について論議した。
  - ア 自民党埼玉県連幹部と県要望事項等について意見交換  
日 程 平成27年10月7日(水)
  - イ 公明党埼玉県議員団との意見交換会  
日 程 平成27年9月15日(火)
  - ウ 民主党埼玉県連との意見交換会  
日 程 平成27年9月15日(火)
  - エ 埼玉県との情報交換  
日 程 訪問時等随時実施
- ④ 各種活動を通じて得た情報は、連合会ホームページを通じて会員間の情報共有を図った。また、特に一般に広く周知すべきものについては、無償頒布している季刊誌『建産連ニュース』等を活用し、浸透を図った。

(2) 提言・要望について

調査研究活動を通じて、建設産業及び社会一般における問題点として改善すべき事項とされたものについては、具体的施策として取りまとめ、行政機関や国会議員・県議会議員に対して提言を行った。

- ① 自民党埼玉県連(平成27年10月7日)、公明党埼玉県議員団(平成27年9月15日)民主党県連(平成27年9月15日)を通じて埼玉県に対し以下を要望  
「公共工事予算の安定的な確保について」等
- ② 一般社団法人全国建設産業団体連合会を通じて国等に対して以下を要望  
(平成27年9月29日)  
「公共工事予算の安定的な確保について」 等

2. 建設産業に従事する者の能力開発及び経営改善の支援

(1) 研修会等の開催・共催について

① 建設産業研修会の開催

・建設産業研修会（1回目）

日 程 平成27年11月4日（水）  
会 場 埼玉建産連研修センター 101会議室  
演 題 『マイナンバー（番号）制度と建設業者（民間事業者）の対応  
～マイナンバー対応に伴う問題とは～』  
講 師 株式会社建設経営サービス 森谷 修一 氏  
受講者 103名  
共催等 一般社団法人埼玉県建設業協会さいたま支部、  
東日本建設業保証株式会社埼玉支店、一般社団法人埼玉県造園業協会、  
一般社団法人埼玉建築士会、一般社団法人埼玉建築設計監理協会の共催、

・建設産業研修会（2回目）

日 程 平成28年3月4日（金）  
会 場 埼玉建産連研修センター 大ホール  
演 題 『若手技術者の現場管理力アップ研修（施工管理編）』  
講 師 株式会社建設経営サービス 黒図 茂雄 氏  
受講者 85名  
共催等 東日本建設業保証株式会社埼玉支店、一般社団法人埼玉県造園業協会、  
一般社団法人埼玉建築士会、一般社団法人埼玉建築設計監理協会の共催、  
リコージャパン株式会社等の協賛

② パソコンスキルチェックセミナーの開催

日 程 平成28年3月24日（木）～3月25日（金）  
会 場 埼玉建産連研修センター 201会議室  
演 題 『Windowsスキルチェックセミナー』  
講 師 一般社団法人全国建設産業団体連合会 山田 安良 氏  
受講者 38名（2日合計）  
共催等 一般社団法人埼玉県造園業協会、一般社団法人埼玉建築士会との共催

③ ITセミナーの開催

日 程 平成27年8月24日（月）  
会 場 埼玉建産連研修センター 101会議室  
演 題 『クラウドで実現するBCP対策  
～Office365の活用～ セミナー』  
講 師 株式会社 ピーピーティ 佐々木 勉 氏  
受講者 27名  
共催等 一般社団法人全国建設産業団体連合会、一般社団法人埼玉県造園業協会、  
一般社団法人埼玉建築士会との共催、  
ダイワボウ情報システム株式会社等の協賛

④ 中堅職員フォローアップ研修の開催（建設業担い手育成助成事業）

・中堅職員フォローアップ研修（1回目）

日程 平成27年4月16日(木)～4月17日(金)  
会場 ホテル ラフレさいたま(研修・宿泊)  
演題 『メンタルヘルス講習』『労務・企業組織管理』等  
講師 千田 恵吾 氏(メンタルヘルス講習)  
廣津 榮三郎 氏(安全管理は脳のマネジメントから)  
手島 伸夫 氏(労務・企業組織管理講習)  
萩原 正広 氏(建設業経理検定2級受験講座)

受講者 12名(講習コース5名/経理検定コース7名)

・中堅職員フォローアップ研修(2回目)

日程 平成27年8月18日(火)～8月19日(水)  
会場 所沢商工会議所(研修)・所沢パークサイドホテル(宿泊)  
演題 『メンタルヘルス講習』『労務・企業組織管理』等  
講師 林 恭弘 氏(メンタルヘルス・ヘルスケア講習)  
宮野 寿明 氏(企業は人なり、強い企業はここが違う)※  
木下 昌 氏(建設業経理検定2級受験講座)

受講者 7名(講習コース3名/経理検定コース4名)

備考 ※は建設産業入職促進セミナーとして単体でも受講者を募集

⑤ 職長等安全衛生レベルアップ講座(建設業担い手育成助成事業)

日程 平成27年4月～9月(合計6回開催)  
(埼玉建産連研修センター 202会議室)  
講師 株式会社建設産業振興センター 提携講師  
受講者 156名(6回合計)

⑥ 研修会等実施に際しての取り組みについて

- ア 各種研修会の実施に際しては、共催先の協力を得て、各種技術者の継続学習制度(CPD)の認定を受け、催事を活性化した。
- イ 研修会事業については、一般社団法人移行後の継続事業となっているため、当連合会ホームページを通じて、一般参加者を受け入れた。

⑦ 共催・後援等について

- 会員団体等からの要請を受け、催事の共催・後援を行った。
- ア 『卒業設計コンクール』の共催 主催 一般社団法人埼玉建築設計監理協会
- イ 『建設業経営講習会』の共催 主催 一般社団法人埼玉県建設業協会

⑧ 建設業担い手確保・育成事業予備調査の実施

一般財団法人建設業振興基金の助成事業である、建設業担い手確保・育成事業の受託を依頼されたため、次年度以降に事業実施(研修等)するための予備調査を実施した。

(2) 季刊誌『建産連ニュース』の発行について

機関誌「建産連ニュース」を第144号から第147号まで、年4回、各2、100部を発行し、会員団体をはじめ県、市町村、その他関係機関等に配布した。

(3) 構造改善事業

国において示された「建設生産システム合理化指針」、「建設産業政策2007」等に基づ

き次の諸事業を行った。

- ① 『埼玉の建設産業』ポスター・絵画コンクールを建設業構造改善事業として一般財団法人建設業振興基金に申請し、本年度も助成対象として認定された。
- ② 建設業体質強化支援助成に『建設産業と求職者をつなぐ人材確保支援事業』として各種研修会等を一般財団法人建設業振興基金に申請し、助成対象として認定された。

### 3. 建設産業に関する啓発宣伝事業

#### (1) 第37回ポスター・絵画コンクールの実施

(後援：埼玉県 埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会)

児童、生徒の創作活動を通じて建設産業の重要性をアピールするため、継続事業として「埼玉の建設産業」をテーマとして、県内小・中学校の児童・生徒を対象にポスター・絵画コンクールを実施した。

前年度に引き続き、一般財団法人建設業振興基金より建設業構造改善事業として認められ助成金を受けた。この助成金により、当該事業の実効性が高まった。

本年度は、全体で59校から309点の応募があり、これらの作品は、広報委員会等の審査を経て、入賞作品67点を選定した。

#### (2) 優秀作掲示と結果報告

- ① 事業結果については、関係学校長等に通知し、各入賞者には賞状と賞品を授与した。
- ② 入賞作品67点は、下記の各会場に展示し、多くの方が観覧された。

ア 埼玉県庁舎3階渡り廊下内掲示スペース	平成27年12月7日～18日
イ 熊谷市民文化センターギャラリー	平成28年1月5日～10日
ウ 建産連会館玄関ロビー	平成28年1月12日～1月29日
- ③ 連合会ホームページに特設コーナーを設け、入賞作全て(67点)を掲示した。
- ④ 建産連ニュース1月号別冊として特集を組み、作品応募のあった小中学校及び各所に無料配布し、建設産業のPRに努めた。
- ⑤ 入賞作については、作品のデータ化を実施し、劣化無く長期に保存できるように工夫した。また、当該データは、ホームページ内での作品掲示の際に活用した。

#### (3) 2016年カレンダーの作成・配布

ポスター・絵画コンクールの優秀作品を原画に用いた2016年カレンダーを2,800部作成し、県内小・中学校をはじめ会員団体、県、市町村、その他関係機関等に配布した。

当該カレンダーは、各所にて好評であるため、連合会のイメージアップにも有用と考え、前掲展示会場等にて広範に配布した。

### 4. 埼玉建産連会館及び埼玉建産連研修センターの管理運営

(この法人が保有し、会員建設関係団体が入居する建物の運営)

(1) 建産連会館及び研修センターの運営について

① 顧客目線での施設運営の効果

利用者の希望に即した対応（荷物事前受け取り、会議室セッティング、時間延長対応等）を継続的に実施した結果、利用者は順調に推移し、当初予算を超える売上を達成した。

② 研修センター利用促進を目指した広報活動

当連合会ホームページ、建産連ニュースの紙面等を活用し、利用者への広報を強化した。

③ 研修センターの土日貸出

昨年に引き続き、研修センターの土日貸出について、採算が確保できる利用規模の申し込みに限って開放した。この結果、土日貸出件数は増加し、収入増に寄与した。

④ 各種法定検査等

建築物及び建築設備の定期調査・検査、消防設備の法定点検等を実施するなど、施設の機能維持・防災管理等に留意した。

⑤ 会議室予約システムの開発

会議室予約システムが本年度末までに完成し、新年度4月より正式稼働の見通しである。当該システム稼働後は、会議室利用希望者が、当連合会ホームページ上で空き状況・予約等が可能となるため、利便性向上による利用者増が期待できる。

⑥ その他

施設利用者の増加に合わせ、必要什器備品の導入等を行った。また、施設の適切な管理運営や、導入設備の省力化に留意し、業務効率化や管理費用の節約に努めた。

(2) 会館施設・設備の修繕、設置等について

① 研修センター2階改修工事の実施について

利用者増に対応し、下記の内容にて改修工事を実施した。

ア 200、203会議室の設置（和室及び旧203～205会議室を廃止）

イ 201会議室照明LED化、放送設備改修

ウ 2階廊下部照明の改修（一部LED化等）

上記工事により、収容人数の多い部屋（200会議室）を新設した。また、改修した各室照明のLED化や断熱・防音化を行い、利便性向上と省エネを達成した。

② 建産連会館側玄関ロビー等改修工事

玄関ロビーの改修を研修センター2階改修工事と同時施工にて実施した。

ア 天井の張り替え、塗装の塗り替え

イ ファンコイルユニット（現在使用不可）の撤去によるスペースの確保

ウ 照明のLED化

③ 厨房換気扇設備の交換

近隣住民より、当センター厨房設置の換気扇の排気騒音改善を求められていたため、当該換気扇の交換改修を行った。

④ レストラン業者の変更

研修センター内のレストラン（キッチンCocoro）が本年度末で閉店するとの申し

入れがあった。これに合わせて新たな業者を募集したところ、株式会社ケーシーツーが入居し、レストランを開業することとなった。現在開業準備中（開店5月上旬頃）である。

⑤ 建産連会館設備の更新

主に施設の機能維持を目的として、下記修繕等を実施した。

ア 会館棟空調設備修繕（経年劣化に伴う故障が頻発）

イ 館内老朽化コンセント等交換

ウ 給湯室照明の交換 等

⑥ 研修センター設備の更新

利用者増加に対応するため、利便性向上を目的に下記修繕等を実施した。

ア 会議室用机等の什器備品の追加

イ 大ホール入口扉、控室の修繕

ウ 研修センター屋上排水溝清掃 等

## 5. 法人事業

### (1) 法人の運営に係る各種会議の開催

① 第36回通常総会の開催

平成27年6月24日（水）（埼玉建産連研修センター 101会議室）

前年度事業報告、会計収支決算、本年度事業計画、会計の収支予算、役員の補欠選任等について決議、承認した。

② 理事会の開催

ア 第1回理事会

平成27年5月20日（水）（埼玉建産連研修センター 201会議室）

前年度事業報告及び会計収支決算等について協議

ウ 第2回理事会

平成27年12月9日（水）（埼玉建産連研修センター 103会議室）

本年度事業経過報告、会計収支予算の補正について協議

エ 第3回理事会

平成28年3月28日（月）（埼玉建産連研修センター 103会議室）

本年度事業・収支決算見込み、次年度事業計画・収支予算、通常総会日程について協議

③ 正副会長会議の開催

正副会長による会議を開催し、事業の執行等について協議した。

平成27年6月24日（水）、7月24日（金）、1月25日（月）

④ 委員会の開催

ア 広報委員会

・平成27年4月13日（月）（埼玉建産連会館 103会議室）

「建産連ニュース」144号発行、145号編集案について協議

・平成27年7月18日（月）（埼玉建産連会館 103会議室）

「建産連ニュース」145号発行、146号編集案、「埼玉の建設産業」ポスター・

絵画募集等について協議

- ・平成27年10月19日（月）（埼玉建産連会館 103会議室）  
「建産連ニュース」146号発行、147号編集案、「埼玉の建設産業」ポスター・  
絵画コンクール作品審査、カレンダー作成等について協議
- ・平成28年1月25日（月）（埼玉建産連会館 103会議室）  
「建産連ニュース」147号発行、148号編集案について協議

イ 総務委員会

- ・平成27年7月24日（金）（埼玉建産連会館 103会議室）  
国及び県に対する要望事項、全国建産連会長表彰候補者等について協議

ウ 研修指導委員会

- ・平成27年9月14日（月）（埼玉建産連会館 103階会議室）  
本年度研修事業実施計画等について協議

エ 経営改善委員会

- ・平成28年3月15日（火）（埼玉建産連会館 103階会議室）  
本年度経営改善事業の取り組み、助成事業等について協議

(2) 会員団体及び関係団体との連携

- ① 会員団体との緊密な連携を図るため、会員団体主催の各種会議や諸行事に出席した。
- ② 連合会ホームページを運用し、各種通知を電子化することにより迅速な情報提供を可能とした。また、各種団体事業の記事掲載を行い、連合会の知名度を向上させた。
- ③ 連合会会長が、埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センター、埼玉県職業能力開発協会等の理事または委員として行事遂行に協力した。
- ④ 技術力及び工事施工意欲の向上を目的として、優秀な事業者・技術者の功労を称える県企業局、県土整備部等主催の優秀施工業者等表彰式に出席するなど協力を行った。

(3) 一般社団法人全国建設産業団体連合会（全国建産連）との連携等

① 全国会議への参画

平成27年9月29日に新潟県新潟市朱鷺メッセにて開催された全国府県建産連会長会議に参加、国等に対する要望を行うための決議事項をとりまとめた。

その他総会、理事会、協議員会等に正副会長等が出席した。

② 全国建産連会議への参画

連合会会長が、全国建産連の監事として、総会・理事会等に参加し、事業推進等の所要事項について審議するなどの協力を行った。

また、連合会役員が構造改善対策委員会専門工事業部会の委員として協議に参加するなど協力を行った。

③ 関東甲信越ブロック会議への参加

事務局員が参加し、他県の取り組みなどについて意見交換を行った。

④ 表彰

全国府県建産連会長会議において、建産連の活動、建設産業の発展に尽くされた方への

全国建産連会長表彰があり、連合会より推薦された安部有司氏、小川裕児氏、林卓郎氏が受賞された。

(4) 優秀施工者国土交通大臣表彰（建設マスター）

連合会が、会員団体から選ばれた技術者を優秀施行者国土交通大臣表彰候補者として推薦し、2名が受賞された。

(5) 会員の退会について

埼玉県環境安全施設協会が、同業団体との統合により解散することに伴い、平成28年3月31日付けにて連合会を退会した。

(6) 事務局業務について

① 助成金・補助金制度の有効利用

積極的な事業展開を進めるため、各種助成金事業、委託事業等を実施し成果を上げた。

ア 一般財団法人建設業振興基金の建設産業構造改善事業助成金（ポスター・絵画コンクール）

イ 一般財団法人建設業振興基金の建設業体質強化支援助成（研修事業）

ウ 一般財団法人建設業振興基金の利子補給助成（改修工事資金借入）

エ 一般財団法人建設業振興基金の担い手確保・育成コンソーシアム予備調査（委託事業）

オ 埼玉県の建設業担い手育成事業（委託事業）

② 連携団体職員合同研修会への参加

一般財団法人建設業振興基金が主催する標記研修会に職員1名が参加し、研修等を通じて見聞を広めた。

③ 事務局業務の見直し

事務局業務効率化のため、トータルコストを重視した什器備品の導入や各職員業務連携を推進した。

また、入居者・利用者に係る業務については、綿密な情報交換、業務の情報共有を進め利便を図った。

④ ホームページの活用

連合会ホームページを活用し、会員への各種連絡や公開情報の迅速な送付と、配送費減少によるコスト削減に一定の効果上げた。また、研修センター利用者の増加に対応し、貸出システムの構築、主にホームページによる施設内容紹介の充実に努めた。